

スポーツ推進だより

令和 4年 3月 No.140



スポーツ推進だより 目次

第2回学区交歓ファミリーバドミントン大会	2~3
第36回学区交歓ソフトミニバレーボール大会	4~5
中央第一ブロック研修会	6
西三河地区スポーツ推進委員実技研修会	7
第69回東海四県スポーツ推進委員研究大会(WE B開催)	8
ミニテニスって、どんなスポーツ?	9
2021年度岡崎市スポーツ推進委員紹介マップ	10~11
『インクルワークショップ』に参加して	12

第2回 岡崎市学区交歓

ファミリーバドミントン大会

令和3年 11月 7日(日) 岡崎中央総合公園体育館

三島学区 大竹 巨秀

北野学区 松尾 春美

本来ならば、昨年の令和2年度に第一回大会が開催される予定でしたが、コロナの状況もあり中止となったため、この令和3年度大会を実質“初開催”として「第2回岡崎市学区交歓ファミリーバドミントン大会」が11月7日（日）に、岡崎中央総合公園体育館の総合体育館にて開催されました。

一般の部が34チーム、ファミリーの部が8チームの総勢260名と多数の方々に参加していただきました。このような状況にもかかわらず沢山のご参加ありがとうございました。

新しい種目であり、新しい大会でしたが、みなさん楽しくプレーされていて、「思ったより動きがあり疲れるけど楽しい。」と感想をいただきました。一般の部もファミリーの部も予選は決勝トーナメント進出に向かって、白熱した大変接戦の試合が多かったです。もちろん、コロナ対策を考えて大声は控えながらですが気持ちは熱く、体育館全体が盛り上がっていました。

大会結果は、一般の部では「連尺Nチーム」が優勝、ファミリーの部では「矢作東チーム」が優勝をつかみ取りました。

ファミリーの部は子供から大人まで、一般の部は意外に学生さんから若手の方々の参加が多く、またベテランまでの年齢が幅広く、老若男女問わず楽しくプレーされていました。

ファミリーバドミントンは打ち込み禁止なので、バドミントンのラリーが少しでもできれば馴染みやすいスポーツだと思います。ぜひみなさまにご紹介させていただきたいので、地元のスポーツ推進委員にお声かけください！

最後にこのような新しい種目を通して、市民のみなさまの今後の体の健康および精神的な健康のためにも、また地域社会でのコミュニケーションを楽しむ機会としてもご活用いただけるように、大変お勧めできる種目ですので、みなさんにもぜひ体験して楽しんでいただければと思います。





一般の部 **準優勝** 六ツ美中部Bチーム



ファミリーの部 **準優勝** 連尺チーム



一般の部 **第3位** 連尺Eチーム



ファミリーの部 **第3位** 梅園チーム



一般の部 **第3位** 連尺Rチーム



ファミリーの部 **第3位** 岩津チーム

一般の部

0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

0 2 2 2 2 2 2 2 2 2

C④ D③

C① C② D① D②

A 1位 竜谷 B 1位 連尺E C 1位 六ツ美南部2 D 1位 連尺N E 1位 生平 F 1位 連尺R G 1位 矢作東 H 1位 六ツ美中部 B

三位 三位 三位 二位 三位 三位 三位 二位

ファミリーの部

	I1位 梅園	J2位 岩津	I2位 連尺	J1位 矢作東
三位 I1位 梅園		15-2 15-11	9-15 15-12 15-12	7-15 10-15
三位 J2位 岩津	2-15 11-15		6-15 9-15	7-15 4-15
二位 I2位 連尺	15-9 12-15 12-15	15-6 15-9		10-15 15-14 15-10
一位 J1位 矢作東	15-7 15-10	15-7 15-4	15-10 14-15 10-15	

各組の決勝トーナメントの結果、一般の部優勝は連尺N、準優勝は六ツ美中部B、第3位は連尺Eと連尺R。ファミリーの部優勝は矢作東、準優勝は連尺、第3位は梅園と岩津という結果になりました。

第36回 岡崎市学区交歓レクリエーションスポーツ ソフトミニバレーボール大会

令和3年 12月 5日(日) 岡崎中央総合公園体育館

大樹寺学区 門田 郁子

羽根学区 服部 将義

「楽しかった、大会開催してくれてありがとう」何人かの方々に感謝をいただきました。しかしながら本大会はコロナ禍のため十分な準備もないまま、参加いただいた選手の皆さんにこそ感謝をしたい大会でした。

令和3年12月5日(日) 岡崎中央総合公園体育館にて行われた第36回ソフトミニバレーボール大会は、新型コロナウイルスの為、2年ぶりの開催となりました。女性ブロック33チーム、男女混合ブロック25チームでの共催で行われました。いずれも各コート上位2チームが決勝トーナメントに進出し、上位を目指しました。

コロナ禍で行われた本大会では、スタンドからの声を出しての応援は控えていただき、また試合中以外はマスクの着用をしていただくなど、感染予防にもご協力いただきました。

本大会の出場チーム数は、いつもより若干少ないものでしたが、大会が始まるや否や、一気に会場を熱気が包み込みました。今回から採用された混合の部では、アグレッシブなプレイに増して、好プレーで繋ぐラリー戦に目を見張りました。また、チームプレーで好試合の多かった女性の部の優勝戦は、打っては拾い、拾っては打つ攻防の応酬でした。選手の皆さんの頑張りに、心から感動を覚えました。

来年、また当たり前のように、この場で、同じ感動に出会える事を心より願います。



◆◆◆ 優勝チームからのコメントをいただきました ◆◆◆



女性の部 **優勝** 矢作東Aチーム

コロナ禍、大会を運営していただきありがとうございました。このような結果を出すことが出来たのは、日頃培ったチームワークのおかげです。来年もみんな楽しんで頑張ります。



混合の部 **優勝** 梅園Bチーム

こんな状況の中、大会を開催していただきありがとうございました。無事優勝することができました。また来年も頑張りたいと思います。



女性の部 準優勝 広幡A②チーム



混合の部 準優勝 大門Bチーム



女性の部 第3位 六ツ美北部Aチーム



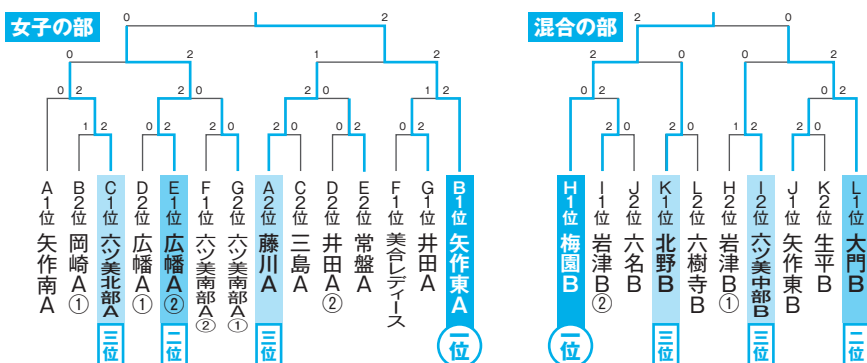
混合の部 第3位 北野Bチーム



女性の部 第3位 藤川Aチーム



混合の部 第3位 六ツ美中部Bチーム



各組の決勝トーナメントの結果、女性の部の優勝は矢作東A、準優勝は、広幡A②、第3位は六ツ美北部Aと藤川A。混合の部の優勝は梅園B、準優勝は大門B、第3位は北野Bと六ツ美中部Bという結果になりました。

中央第一ブロック研修会を開催して

三島学区 大竹 巨秀

コロナの終息がされない状況で、なかなか行事を開催するのが難しい中、皆様のご協力により「中央第一ブロック研修会」が梅園小学校体育館と運動場にて晴天のもと開催出来ました。対象は、「梅園学区・根石学区・三島学区・六名学区・竜美丘学区」の5学区の皆様で、38名の方々に参加していただきました。競技は、「ファミリーバドミントン」と「ナンバーカップ」を研修しました。

ファミリーバドミントンを研修してみる

- 1) シャトルが飛ばないので、しっかり打たないといけない。
- 2) シャトルの勢いがいないため、つい譲り合ってしまい、ラリーが続くとミスなど何かが起こる楽しさがある。
- 3) 男女や年齢、体力の差に関係なく一緒に楽しめる。
- 4) 難しいのはサーブが入らないと試合が盛り上がらないことがある。

ナンバーカップを研修してみる

- 1) 対戦チームを学区ごとではなく混成チームとしたため、出会いとともに楽しい時間を過ごせていました。
- 2) 何点をとるか、また相手に点をいかに取らせないようにするか、頭を使い相談して考えて行う楽しさがある。
- 3) ボウリングに似ており、またビンゴゲームやかけ引きをする男女や年齢に関係なくできる種目のため、また人数もチーム戦でおこなうのに多くの方法が考えられる。

このように、ファミリーバドミントンとナンバーカップにはそれぞれの特徴があり、新しい種目として身体と心の健康を目的としても、またコミュニケーションを楽しむとしても老若男女すべての方に大変お勧めできる種目ですので、みなさんにも一度は体験していただければと思います。



令和3年度 西三河地区スポーツ推進委員実技研修会に参加して

緑丘学区 藤田 将夫

刈谷市スポーツ推進委員会のご協力のもと、11月27日（土）に刈谷市総合公園（ウイングアリーナ刈谷）にて、西三河地区スポーツ推進委員実技研修会が開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部簡略化した形での開催となりましたが、岡崎市の22名を含め西三河地区のスポーツ推進委員約100名が参加し、①ミニテニス、②ソフトバレー、③ノルディック・ウォーキングの3種目を実技体験しました。

また、西三河地区スポーツ推進委員5年・15年表彰も併せて行われ、岡崎市からは鈴木孝幸（岡崎）さんと安藤徳明（常盤南）さんが5年表彰を受賞されました。おめでとうございます！

①ミニテニスは刈谷市では盛んに行われており競技人口も多いそうです。ルール説明、サーブ練習の後には、時間の許す限りゲームを行いました。前後左右にと動かされ、かなりの運動量でした。ゲームを重ねるうちに徐々に打ち方のコツもわかってきたところで残念ながら終了となりました。今後もやってみたいと思う競技でした。

②ソフトバレーは、スポーツ推進委員が市民の方々へ教えるという事を目的とした内容でした。初心者用と経験者用のプログラムに分かれており、私は初心者用のプログラムへ参加しレクチャーの仕方を学びました。練習の仕方、伝え方など参考になる事が多かったです。

③ノルディック・ウォーキングは初めて体験しました。ポールを使ったストレッチを行なった後、歩き方のレクチャーを受け、その後はひたすら歩きました。思った以上に腕を使い、心地よい全身運動となりました。今回は時間の都合もあり屋内でのウォーキングでしたが、屋外を歩けたら爽快だろうなと感じました。

最後になりますが、私は西三河地区スポーツ推進委員実技研修会に初参加でしたが、岡崎市以外のスポーツ推進委員の方々とも交流でき、とても良い機会でした。会場はとてもきれいな施設ですし、Vリーグの観戦をしたことがある会場であったこともあり、そこでプレーできる事に気持ちも高揚し、とても楽しい研修会でした。



第69回東海四県研究大会 ～YouTube開催と表彰者コメント～

岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会 事務局

今年で第69回を迎えた“東海四県研究大会”。当初、岐阜県下呂市にて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて今年度はYouTubeでのオンライン開催という形式で本研究会が行われました。

～ YouTube開催を視聴して～

本研究会では岐阜県揖斐川町、郡上市、土岐市、岐阜市から研究発表がされました。

その中で最初に発表された揖斐川町の研究を聞き感じたことや事務局としてのこれからの意気込みを述べたいと思います。

揖斐川町ではこれまで各地区でそれぞれの地域性に合った行事を行っていただくと人が集まりスポーツを普及することができており、各スポーツ推進委員は自分の地区の行事に集中していれば良かった、という背景がありました。しかし近年、人口減少や高齢化が進み地域の方たちのスポーツに対する熱量がなくなってきているのを感じ、町全体の統一性をもって行事を行うべきだと新規事業という新たな一歩を踏み出したそうです。それが参加者皆様に簡単で馴染みやすいノルディックウォーキングの普及でした。

そのための**5年計画**を策定し、その中には体験会や地域交流会、他にも体験者の声を聞くための調査や、頻繁にコースを変更して参加者と各地区に出向くことでの地域交流等を図る事業計画がありました。

岡崎市も“ファミリーバドミントン”という新しい競技を『**学区交歓大会**』や研修会をもって各地域に広めています。しかし、コロナ禍ということもありまだまだ市民の皆様へのこの競技がもつ楽しさを伝えきれていないのが現状です…。今後も揖斐川町同様に、「市民の皆様健康増進とスポーツ意欲向上」という目標を掲げニュースポーツの普及に尽力していきます。また来年度に控える各イベントや学区交歓の大会など、沢山のご参加お待ちしておりますので是非一度体験しに来てください！

そもそも東海四県研究大会って？

東海四県の各市町村よりスポーツ推進委員が集まり、地域における生涯スポーツの実践活動についての研究や協議を行い、スポーツ推進委員としての資質向上と情報交換によるレクリエーションスポーツ知識の向上を目的としたイベントです！

今年度初開催しました！
詳細はP.2～P.3へ!!

令和4年度学区交歓大会について

令和4年度も、「学区交歓ファミリーバドミントン大会」「学区交歓ソフトミニバレーボール大会」を開催予定です!! 詳細は、各学区スポーツ推進委員さんから近々情報展開がありますので、もう少々お待ちいただければと思います。令和3年度大会優勝チームをたおすのは、一体どこのチームだ!!

東海四県スポーツ推進委員功労者表彰

今年度、東海四県スポーツ推進委員功労者表彰として岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会より大樹寺学区の近藤直樹さんが受賞されました。

大会冊子にて掲載されたコメントをこちらに掲示します！いつも岡崎市のスポーツ振興のために尽力して下さりありがとうございます。おめでとうございます！



大樹寺学区 近藤 直樹さん
推進委員歴17年

大会冊子掲載コメント

今回、功労者として評価して頂いたのも長年に亘り活動を支えてくれた地域の方々や推進委員の仲間たちのおかげだと感謝しております。先輩方から学んだ事を後進へ伝えてより良い活動ができるように努めたいと思います。

ミニテニスって、どんなスポーツ？

■ 特徴

- 【場 所】 室内で、バドミントンのダブルスコートを使用。
ネットから1mの位置にサービスライン。
- 【用 具】 ラケットは、シャフトが短い専用ラケットを使用。
ボールはビニール製で、日本ミニテニス協会公認球。
ネットは高さ1m。
- 【プレーヤー】 個人戦、ダブルス、団体戦が原則。
- 【概 要】 全てワンバウンドで相手コートへ返球する。
得点は1ゲーム6ポイント先取（ジュースなし）
1ゲーム毎にコートチェンジ、サービスチェンジ（ファイナルゲームのサービスは除く）
3ゲーム中2ゲーム先取で勝利。

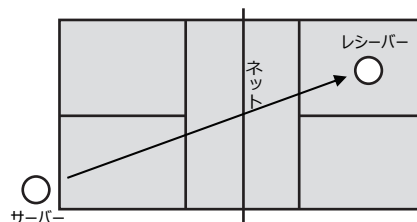


■ ゲームの進め方

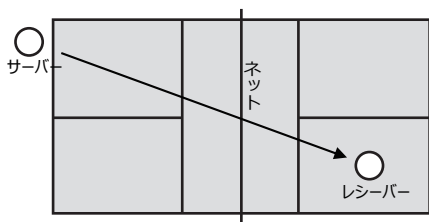
- ① まずは相手チームと握手、そしてジャンケン。
サービスかレシーブを選択。
コートは対戦者若番が主審左側に入る。



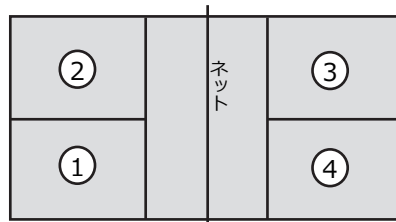
- ② サーブは掌を上に向け、ワンバウンドさせてから腰より下で、右後方より対角コートに打つ。



- ③ 次のポイントは、同一サーバが左後方より対角コートへ。（レシーバーは交替）



- ④ ファイナルゲーム（3ゲーム目）に限り下記の順番でサービスを回す。

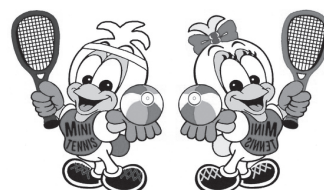


■ 注意するポイント

- ① ボールが支柱の外側を通過しても、ネットの高さを確保して相手コートに正しく入ればOK。
- ② サービスしてから1分間でタイムオーバーとなり、両チームに加点される。（新特別促進ルール）
- ③ サービスのネットイン（正しく相手コートに入った場合）はリプレイとなる。

■ その他（正式ルールではありませんが…参加者を考慮した運営も可能です）

- ① 6ポイント先取を5ポイント先取に変更する。
- ② 対角コートに入れるルールを緩和する。
相手コートに入ればOKとか…



子供からお年寄りまで、誰もが気軽に楽しめるスポーツです。

2021年度に活躍された 岡崎市スポーツ推進委員の皆様

(新)=新任

中央第2ブロック



杉山まゆみ



鈴木紀勝



鈴木克典

連尺学区



二宮 丈



加藤祐史



渡辺 恵

広幡学区

中央第1ブロック



稲吉幸江



服部秀俊



老平哲士

梅園学区



堺 貴之



吉雄則子



大竹巨秀

三島学区



倉地祐二



堀場由美子



鈴木由健

根石学区



山崎真紀



小林晴美



高野敏文

竜美丘学区



岩月史佳



笹山 敦



畔柳江美子

六名学区

矢作ブロック



松本佳子



篠田和城



今津義彦

矢作東学区



江濱 崇



平林良浩

矢作西学区



石川貴洋



伊藤秀樹



太田佐知子

矢作北学区



伊藤 仁



下村さつき



小林康浩

矢作南学区

六ツ美ブロック

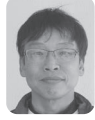


伊奈美穂



大久保秀幸

六ツ美中部学区



佐藤義美



時原あすか



鈴木富雄

六ツ美北部学区



杉本将勇



服部将義



牧野広美

羽根学区



中山 許



川澄晴紀

城南学区



照井健二



西郷員代



西田一彦

六ツ美南部学区



成瀬 真



梅村順子



鈴木孝幸

岡崎学区



小松信之



小澤あづさ



中原修二

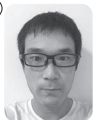
上地学区



外山 愛



相木 浩



大田竜一

六ツ美西部学区



大谷一樹



馬込慎一郎



鈴木千浪

福岡学区



横山信也



川瀬剛志



田畑ふみえ

小豆坂学区

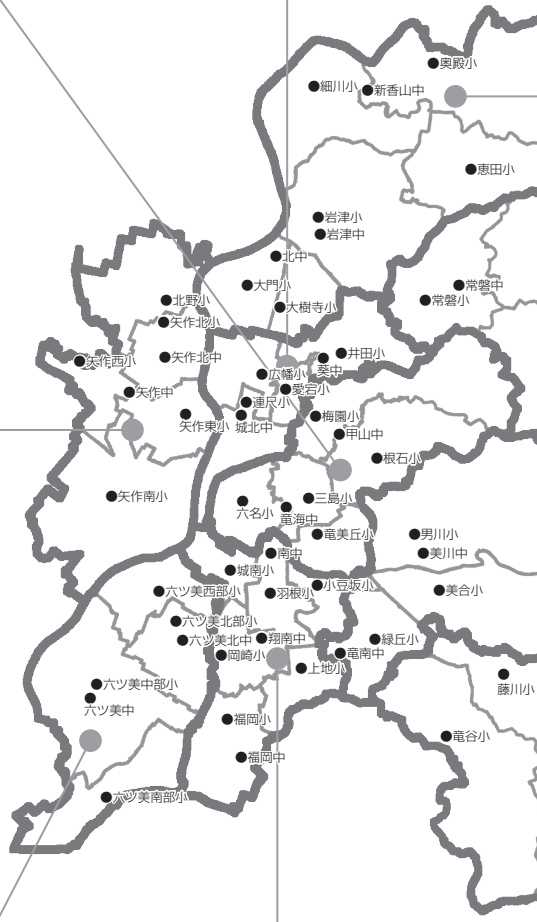


稲葉雅知



戸松 裕

大平ブロック

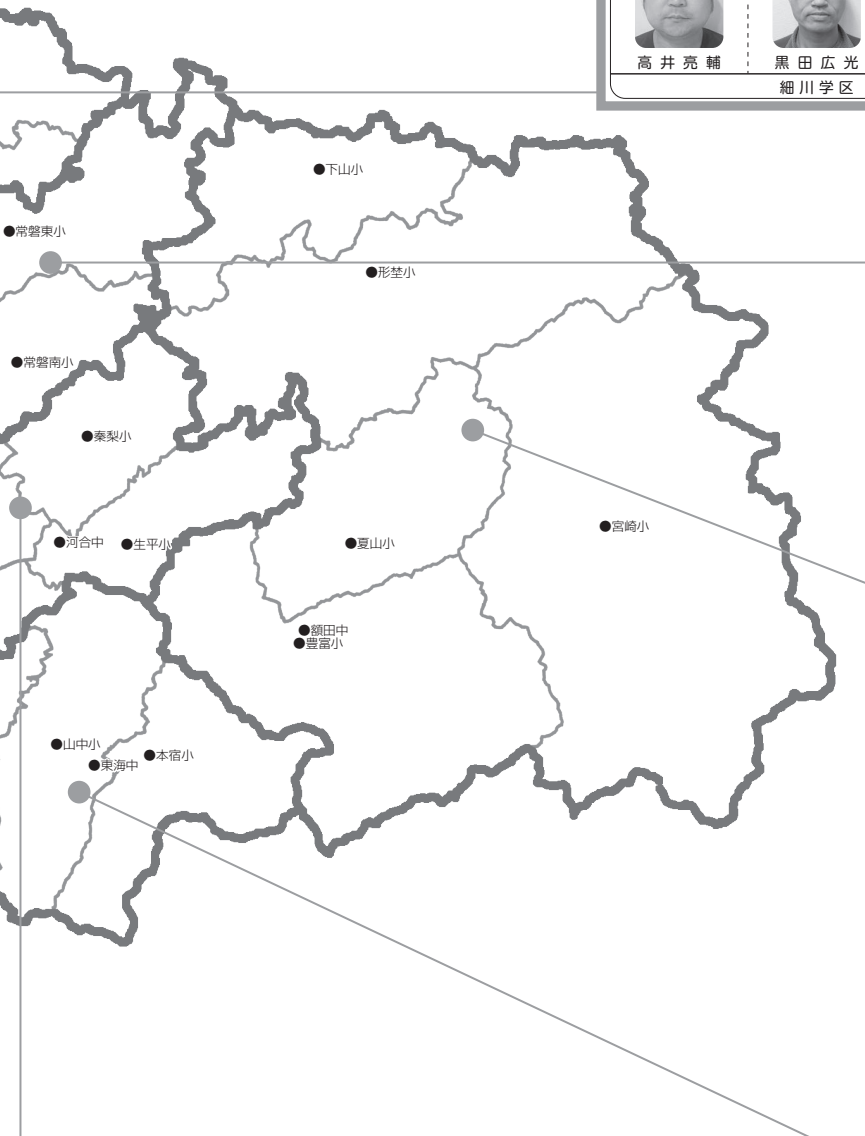


岡崎ブロック

岩津ブロック

 山本 幸正	 天野 裕二	 野本小百合
井田学区		
 安井 孝一	 本多 正司	
愛宕学区		

 沓名 克彦	 中原 浩善	
恵田学区		
 小嶋 泰之	 鈴木 幸善	
奥殿学区		
 吉川 英治	 市川 敏行	
岩津学区		
 近藤 直樹	 高橋 健一	 門田 郁子
大樹寺学区		
 甲斐 誠	 蜂須賀 一郎	 島田 加代子
大門学区		
 高井 亮輔	 黒田 広光	 柴田 千鶴子
細川学区		



 安藤 徳明	 倉橋 伸行	
常盤南学区		
 赤井 達也	 有田 裕之	
常盤学区		


 中根 啓太	 伊藤 大輔	
常盤東学区		

 吉田 洋子	 村上 伸一	
豊富学区		

 鈴木 喜生	 酒井 孝彰	
形埜学区		

 柴田 成夫	 村松 大輔	
夏山学区		

 高橋 誉	 渡辺 昭典	
下山学区		

 山口 晴己	 篠田 元紀	
宮崎学区		

 早川 晴子	 天野 竜真	
男川学区		
 藤田 将夫	 富田 照美	 北村 裕直
緑丘学区		
 本多 達郎	 浦野 昌志	 天野 博之
桑梨学区		
 杉田 至	 畔柳 康人	
生平学区		

 小坂 貴志	 東浦 至孝	
竜谷学区		
 笠原 亜弓	 柴田 康幸	
山中学区		
 小野 まゆみ	 倉田 信隆	
藤川学区		
 柴田 ユカ	 畔柳 稔	
本宿学区		

常盤ブロック

額田ブロック

東部ブロック

「インクルワークショップ」に参加して

連尺学区 杉山 まゆみ



令和3年度、愛知県スポーツ協会主催の「インクルワークショップ（障害者スポーツ講座）」が開催され、三河コースには私と吉田洋子（豊富学区）さん、尾張コースには鈴木富雄（六ツ美北部学区）さんが参加して参りました。「スポーツを通して共生社会を考えよう」をテーマに全3日間、貴重な体験をさせて頂きましたが、受講者は今後の活動のキーマンとなる事を目的とされているとの事、大変な使命感と緊張感を感じました。

また、障害者スポーツ活動への支援は、国の「スポーツ基本法」にも規定されており、スポーツ推進委員の任務の1つでもあるのです！

1日目 講話

1日目は、中部大学の伊藤守弘教授の講話1と、名古屋柳城女子大学の小野隆教授の講話2を拝聴しました。内容については①障害者と健常者の境が曖昧な事②病気と障害の違いを知る事③障害は社会が解決すべき問題が多い事…を前提に障害者の出来ることを見つけ、残った物を生かす事が大切との内容でした。

2日目 車いすバスケット

「ドッジボール」「バウンドテニス」の3種目を障害者の立場で体験しました。「車いすバスケット」では競技用車いすを乗りこなすことから始め、他2種目では自身の障害を想定しルールをアレンジ、体験することにより様々な課題が見えてきました。

3日目 いよいよテストマッチ

小学2年生から22歳の障害を持つ9名の皆さんを招いての実技です。当初アレンジしたルールには少し自信がありましたが、全く生かす事が出来ず考案について甘さと力不足を痛感しました。そんな中、私は9名の皆さんの前向きな姿勢と笑顔に励まされ、この経験を生かし今後の活動の糧になればと思いました。



最後に...

今後は岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会として共生社会を創り上げていくためにも、健常者だけでなく障害者スポーツ活動にも積極的に取り組んで参りたいと思います。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願い致します。

発行 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会
編集 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会広報・事業部
事務局 ● 岡崎市社会文化部スポーツ振興課（TEL23-6363）
ホームページ ● <http://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1556/281500/p021076.html>



古紙・リサイクル紙配合再生紙使用